

県民会議での指摘事項（2回目）

部局名	事業名	発言内容
地域戦略部	インターネット地域情報発信事業	県のHPは、基本的に県内に住んでいる人は見ない。県外からの人目線で作成したほうがいいのではないかな
		HP改修にいくら必要なの。具体的な数字を示してほしい
	働く女性の負担軽減促進事業	20代のカップルは家事育児時間の男女差はあまりないのではないかな
		共家事促進イベントへの奨励金が10万円しかないが、これでは不十分ではないかな
交流文化部	「ふるさとの日」記念事業	ふるさとの日は、表彰の日ということでもいいの。どういう情報を発行したいのかを精査するべきではないかな
		U1ターンの観点から、県外に出ている人にふるさとを感じてもらう取組みをしてはどうか
	障がい者アスリート競技力向上事業	アスリートの競技種類によって、負担する経費にばらつきがある。アスリートとの面談等を行い、競技種類ごとに補助上限をわけなどの取組みが必要
	県民スポーツ祭開催事業	障がい者のアスリートは、健常者の大会の開会式に参加することがあまりない。県障スポ大会は、競技によって会場が分かれており、県民スポーツ祭との開会式を融合するのは難しいのではないかな。また県障スポ大会は、全国大会の予選会も兼ねており、6月上旬の大会実施が必須なので、時期的にも難しい。
総務部	知事公舎等関連経費	壊すのはもったいない。企業などに貸し付けてはどうか
		まず、買い手がつく可能性はあるの。また、売るにしても貸すにしても、更地化等のコストを含めた金額が見えないので、数字を具体的に提示すべき
		現施設を活用する場合と貸付け・売却する場合について、メリット・デメリットを示すべき
		知事公舎が公邸として持っていた機能（防災、迎賓等）が、他できちんと担保されていることは、議論の前提として明示すべき
		個人的には更地にして売るのが良いと思う
総務部	県内大学等連携研究推進事業	将来的に商品化等につながる研究テーマに対しては、もっと補助額を増やしてもいいのではないかな
		ICTなどの最先端分野に投資すべき
		学生でも申請できるようにもっと研究テーマ等のハードルを下げしてほしい

県民会議での指摘事項（２回目）

部局名	事業名	発言内容
		大学間の壁を越えて、もっと連携を深めていくべき。県からも大学側にもっと連携を深めていくよう促してほしい
総務部	ふるさと人材育成支援事業	福井県のいいところをもっとPRして、福井県に定着することは魅力が高いと認識するような取組みにするべき
		インターンシップ事業との連携を図ったらいいのではないか
地域戦略部 土木部	県都デザイン戦略推進支援事業 山里口御門・福の井利活用推進事業 福井駅西口市街地再開発支援事業	山里口御門の入場者内訳を把握する必要があるのではないか。また、山里口御門を建設したことによる経済効果も把握しておく必要があるのではないか。
		今後、新幹線が通れば、外国人観光客が増えることが見込まれるため、そういった視点でも県都デザインを検討する必要がある
地域戦略部	がんばる県民共働グループ応援事業	NPOが地域資源を活かし、交流人口の拡大を図る取組みは素晴らしい。ぜひ続けてほしい
		新しいことにチャレンジする場合、半分は失敗する。成果を過剰に求めず、やる気のある人が失敗しても、再びチャレンジできるような取組みにしてほしい
	結婚支援事業	イベントよりもインターネットを通じた出会いの方が結婚実績は多い。イベントなどのアナログ的な方法だけでなく、多様な方法で支援するべき
		企業間交流婚シェルジュ事業は、事業趣旨の理解に関して企業間でばらつきがあるのではないか
交流文化部 地域戦略部 産業労働部	Uターン関連事業	福井県に移住する場合、具体的にいくら経費がかかるかということを知った方が、参加しやすいのではないか。また、若者に限る必要はないのではないか
		大学のゼミに対し、広報するのであれば、もっとPRのやり方を検討するべき。周知の図り方を画一的にするべきでない
	県外若者へのプログラム提供事業	補助金について、こういう便利な制度があるということをもっとPRした方がよい。Uターンを考えていない学生にも周知を図ってはどうか
		補助金を続けてほしい。学生にとっては、補助があればありがたい